

記入日: 令和7年8月19日

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント				
			実施状況									
			できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない						
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]												
(1) 理念の明確化												
サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				「あなたらしさを大切に」の理念のもと、利用者の意向に沿ったケアを行っている。					
(2) 適切な人材の育成												
専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、該当サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	○				業務検討会で職員の認識の共有に努めている。					
	3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している			○		法人内の勉強会に出席しているが、外部の研修には出席できていない。 10月に外部研修を予定している。					
	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	○				職員の能力や利用者との相性などに配慮している。					
介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	○				訪問後に都度報告・連絡・相談ができています。					
(3) 適切な組織体制の構築												
組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	○				現在7:40~20:00までのサービス提供時間を確保している。					
介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている	○				今年5月に開催。得られた意見を可能な範囲で反映させている。					
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備												
利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	○				直接電話での報告やグループメールを活用し、共有している。					

タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
			実施状況					
			できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く できて いない		
(5)安全管理の徹底								
職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	○				法人での緊急時連絡網を用いて連絡体制をとる。焦って事故を起こすことのないよう稼働作成している。	
利用者等に係る安全管理	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	○				タブレットにはロックをかけている。書類は書類庫に施錠し、適切に保管している。	
Ⅱ 過程評価(Process)								
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供								
(1)利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成								
利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	○				日々の訪問により収集した情報をもとに、支援のタイミングなどを考慮している。	
	12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つけあわせ等が行われている	○				毎月、介護職と看護職ともにモニタリングを行い、つけあわせしている。	
利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	○				残存機能の活用を計画に組み込んでいる。	
	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			訪問看護師や法人のリハビリ職の意見を参考にサービス提供している。	
(2)利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し								
計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応さーびうSの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				利用者の現状に沿って、サービス提供している。	
継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	○				毎月、業務検討会で利用者の状態・状況を把握している。利用者の状態に変化があった場合は計画を見直し、ケアマネジャーと相談している。	

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供								
介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護床のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている	○				日々の状態観察と報告により、看護師にアドバイスを求めるなど協同しサービス提供している。	
看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	○				利用者の状態変化の度に注意することや対応について指導と助言がある。	
(4)利用者等との情報及び意識の共有								
利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	○				利用相談時や契約時に本人と家族に説明している。	
利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	○				計画書は利用者と家族に説明し、同意を得ている。	
	21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	○				ケアマネジャーを介して家族に報告している。内容によっては直接家族に電話で報告相談する。	
2. 他職種連携に基づいた包括的・継続的なマネジメント								
(1)共同マネジメントの実践								
利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○				日々の利用者の状態や状況をこまめに報告している。利用者・家族の意向や訴えは関係者で共有している。	
	23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている	○				インフォーマルサービスについての知識を深めるとともに活用の提案に努めている。	
定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	○				サービス担当者会議にて日々の状態や状況について多職種へ報告している。	

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて他職種による検討が行われている(※任意評価項目)		○			配食サービスなどをケアマネジャーに提案している。	
	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)	○				病院での退院前カンファレンスに出席するなど情報共有を積極的に行っている。	
多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)					関係者で情報共有し連携を行っている。	
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画								
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案								
介護・医療連携推進会議の記録やサービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法の情報発信が、迅速に行われている	○				ファイルにまとめ、事務所のいつでも見える場所に置いている。	
	29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている		○			定期的に利用者の近隣宅を訪問し利用者の状態等の共有を図っている。	
(2) まちづくりへの参画								
行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している	○				事務所に仕組みについて貼り、理解に努めている。	
サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている			○		現状は難しい。利用希望があれば検討していきたい。	

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
Ⅲ 結果評価(Outcome)								
安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワークづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(※任意評価項目)				○	サービス提供が中心になっており、課題提起や改善策の提案には至っていない。	
サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	○				目標達成のため過剰支援にならないよう支援している。	
在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	○				サービス導入により、在宅生活が安定して送られている。随時訪問の安心感も得られている。	